

非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）の病理学的評価の検討

以下の研究について、本学で実施しておりますのでお知らせいたします。
研究に関する問い合わせ等がありましたら、以下の連絡先にご連絡ください。

研究課題名	非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）の病理学的評価の検討
倫理審査 受付番号	第3204号
研究期間	2019年 4月倫理審査承認日～2024年 5月31日
研究対象情報の 取得期間	下記の期間に当院 肝・胆・膵外科を受診された肝臓病の方 2006年 1月 1日～2019年 3月31日
研究に用いる 試料・情報	試料等、カルテ情報
研究概要	<p>（研究目的、意義）</p> <p>脂肪肝とは肝内に中性脂肪の貯まった状態をといいます。アルコールをほとんど飲まない人に起きる脂肪肝を非アルコール性脂肪性肝炎（nonalcoholic fatty liver disease: NAFLD）と呼びます。NAFLDは、進行せず良性の経過をたどる単純性脂肪肝と肝硬変、肝臓癌へと進行する非アルコール性脂肪性肝炎（nonalcoholicsteatohepatitis:NASH）に分類されます。NASHは国内に約100～200 万人も存在すると推定され、年々増加傾向にあります。NASHの診断は、通常肝生検、手術時の摘出標本を用いてH.E染色を行い病理学的に診断されます。しかし、H.E染色による診断で難渋する場合がございます。</p>

れます。

最近、G protein-coupled receptor(GPCR)を選択的に活性化すると、脂肪新生、糖新生を抑制し肝臓の炎症や肝障害、食事関連の肥満を抑制するとの報告があります。

今回、当科で過去にNASHと診断された患者さんと今後肝切除予定でNASHと診断された患者さんで、免疫組織学的染色法を用いてG protein-coupled receptor(GPCR)の発現を確認し、NASHとGPCRの発現との関連性について検討します。NASH診断において、免疫組織学的な補助診断が可能となり診断能力が向上すれば、患者さんにとって意義があると考えられます。

(研究の方法)

2006年1月1日から2019年3月31日までに当科で肝切除術を受けた患者さんのうち病理学的にNASHと診断された42人の患者さんの摘出標本を用います。H.E染色を用いてNASHと診断します。また、免疫組織学的染色法を用いてG protein-coupled receptor (GPCR)の発現を確認します。H.E染色によるNASHの診断とGPCRの発現との関連性について検討します。

(個人情報の取扱い)

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した(匿名化といいます)上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

本研究に関する 連絡先

兵庫医科大学病院 肝・胆・膵外科
藤元 治朗 (研究責任者)
中村 育夫 (研究担当者)

TEL | (平日 9:00~17:00) 0798-45-6582
(上記時間以外) 0798-45-6583